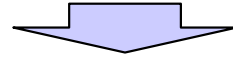


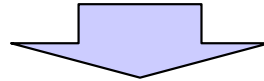
うつくしま「水との共生」プランの策定

- 水は、すべての生命のために欠くことのできないものであるとともに、私たちが豊かで潤いのある社会生活を営む上でも必要不可欠なものです。21世紀は「水の世紀」と言われているように、水は今世紀の最も大切な資源です。
- 福島県は、猪苗代湖や裏磐梯湖沼群など世界に誇れる水環境に恵まれており、これらかけがえのない大切な宝を損なうことなく将来に引き継いでいくことは、未来の世代から私たちに託された責務です。
- 現在、河川の水源がほとんど県内にあるという本県の特徴も生かし、治水、利水、環境保全を含め、分野や領域を超えて多様な知恵を結集し、産学民官が幅広く連携する超学際的な新たな手法を取り入れながら、きれいな川を取り戻すなど、健全な水循環の確保に総合的かつ計画的に取り組むため、本県独自の計画「うつくしま『水との共生』プラン」を策定しました。

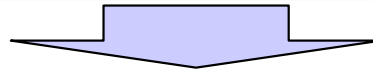
20世紀後半からの水環境への負荷が増大



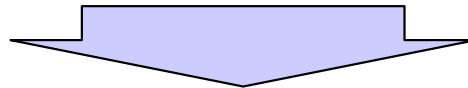
水に関わる様々な問題が複雑化、深刻化



個別の計画、主体、行政単位では対応や解決が困難



超学際的な取り組みが必要



うつくしま「水との共生」プラン

水の恩恵や畏怖を含め、私たちと水との関係を再認識し、水と人との良好な関係を構築していくために、理念や将来像を明確にしながら、それに向けた施策の方向を示す